

令和3年 第1回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和3年5月20日（木）午前9時30分から午前10時30分

2 場 所 雫石町役場 2階 201号会議室

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 作 山 雅 宏

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

教育委員 菅 原 徹

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 徳 田 秀 一

学校教育課 指導主事 黄川田 泰 幸

課長補佐 矢 幅 泰 子

政策推進課長 川 崎 欣 広

主 査 吉 田 耕 大

5 傍 聴 者 な し

6 挨 拶

猿子町長：教育関係については皆様方のご指導により順調に推移していると思っております。私自身、子どもにかけることは一番の重要課題だと思っております。（町内）小学校・中学校については、皆さんのおかげで今のところ順調に来ているわけですがコロナが県下の中でも学校関係に入り込んでいます。今後ともご協力をいただきながらまずはコロナ対策を万全にし、ワクチン接種もはじまり順調に推移して

おります。

今、秋までにいろいろと調べて方策を出したいと思っておりますが、雫石高校の海外研修並びに修学旅行というものをやりたいと思っております。北海道の高校が思い切った形で存続に結びつけています。それを少し進めたいと思っておりますので今後、皆様のご指導をよろしくお願いしたいと思います。

本日も2点において議題がありますので、どうかご忌憚のないご意見をいただきながら本町の教育方針を決めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

作山教育長：町長、副町長にはご多用のところご対応いただきましてありがとうございますございました。

令和3年度も1ヶ月半が過ぎ、(体育祭では)中学生も活気のあるさわやかな中学校生活を見ていただいたのではないかなと思っております。

さて、コロナ禍ですが一昨年度になります。昨年2月27日の全国一斉休業要請から1年3ヶ月ということでコロナに振り回されております。先ほど町長さんのお話しにもありましたが、いよいよ雫石の子ども達、教職員についてもひしひしと(コロナが)近づいて来ていると感じております。できるだけ教育活動を進めて欲しいというのが国の方針ですので、本町もこれに基づきながら粛々と対応していきたいと思っております。

本日はこうしたことも含めて今年度の教育課程についてご提案申し上げます、ご議論いただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。

7 議 題

(1) 雫石町教育振興基本計画の成果指標について

【(1) について事務局(教育長)より説明】

岩持委員：小学校5年生と中学校2年生ですね。改めてこの数字を見て単年ではなくこれからは累積になるということ、数字を見て改めて自分が思っている数字とはちょっと違うのかなということを感じた次第です。個人的に子ども達を見ていると学校によってもいろいろ違うのかなと考えてしまいましたが個人的なのでかなり偏っているのかなと思います。

吉田委員：やはり肥満のところスポーツ参加がこれからどんどん上げていって、子ども達だけではなく大人達もメタボが雫石は高い率ですので、町民全体がスポーツ等に関われるように私も仕事の関係上頑張っていきたいなというところもございました。

千葉委員：教育委員会としてはじめて教育振興基本計画を作られいろいろと協議しながら進めたわけですが、実際に動いてみたらこういうことがある訳ですので見直してマッチングする形で進めることでより正確な数値がでてくるのかなという感じを持ちました。

菅原委員：前よりも何パーセント上がったから良かった、下がったから悪かったというように一人動いただけで大きく動くということを考えれば、5%、10%のプラスマイナスは大きな変化として捉えるのか、確かに難しいのかなと思います。そういう意味では複数年度の累計でみるという考えは大変良いのかなと思います。

副町長：まずは、基本計画を体系的に作っていただき大変ありがとうございます。成果指標が一番苦勞するところで大変だったと思います。教育長が話されている累積ということですが、企業の計上にはそういった累積で見ていく計上を組むやり方もありますので、理解できます。よろしくお願いします。

教育長：今の話を聞いて、基本的には単年度ごとに良かった、悪かったというよりはベクトルを揃えて6年度に向かって行こうという方が良いのかなという感じがしますのでご提案させていただきました。

(2) 事務事業の進捗状況について

【(2) について事務局（教育長）より説明】

菅原委員：タブレットについてですがシステムはまだ動いていない状態ですか。

教育長：インターネットを繋げていろいろと検索はできますが、子ども達の学校教育を潤滑にすすめるためのテストや健康観察などのソフトが、連休明けからできるようになりました。

千葉委員：1ページのいいとこみつけプロジェクトに関連して、防災教育の話がありましたが、配布して終わりではなく地域住民にいかに理解してもらえるかが大事だと思います。マップを作った専門の方々などを派遣していただき、この地域にはこんな災害が発生するかもしれないというようなことを子ども達が学ぶ機会があればよいと思いました。

町長：本当は前みたいに各地区において実践的に訓練できれば良いです。子どもも入れて。岩手山噴火、駒ヶ岳噴火、平成25年の大雨も経験して

いるので、その想定も考えてやりたいと思いますし当然子ども達も巻き込まなければなりません。マップができたことをよしとせず自主防災組織をもっと強固にし、そこにお金を使っていかないと、マップを活かしていかなければと思っています。

8 その他

町長：西山小学校を出たところの横断歩道がありますが、土樋パルスの看板がある十字路からも横断する子どもがいます。その十字路に老人クラブのスクールガードさんを配置した方がいいのではないかとのお手紙をもらいました。

副町長：通学路の安全点検の時に話してみても良いと思います。

9 閉 会